



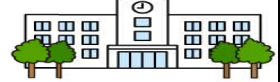
学校教育目標

校訓

刮目 ～刮目の生徒・刮目の教師～

～かけがえのない自己の人生に目を開き、たくましく自己実現していく生徒の育成～

自主・剛健・高雅



東金市立東金中学校 学校だより第28号

令和4年1月6日発行 文責：副校長 久我 和廣

今年もよろしくお願ひいたします。



令和4年(2022年)が幕を開けました。本日、行われた3学期始業式等では、生徒の元気な顔を見ることができ安心しました。さて、今年は「寅年(とらとし)」です。寅年は、十二支に振り分けられたときに3番目にくる干支です。干支以外にも十干(じっかん)と呼ばれるものを加えることもあります。2022年の「寅年」に十干(じっかん)を加えると「壬寅(みずのえとら)」となります。また、この干支に星の動きによって運勢を示唆する九星を加えてみると2022年は「五黄土星の壬寅」となります。

- 五黄土星→2022年、土の強いエネルギーを持った他の八星を支配する帝王の星。破壊力、腐敗などの意味を持ち、変化と育成、つまり大きな変化に伴って、新しいものが生まれる予感があります。
- 壬 →壬の文字が意味するのは、妊という文字に通じて、厳しい冬の寒さに耐えて蓄えた陽の気で次の代の基礎を固めている様子。イメージとしては、種から発芽した芽が土の下で膨らみ、土が盛り上がった様子です。また、壬は十干の9番目にあたり、生き物の成長サイクルに当てはまると、次の育むための準備をする時期といえます。
- 寅 →寅は十二支の3番目で、新しい生命の誕生の時期。寅の文字は、蟻(ミミズ)に通じ、春の胎動の様子を表しています。暖かくなった春先にミミズが土の中で動き始め、発芽を促し、秋の豊穰へと繋がるイメージです。



冬が厳しければ厳しいほど、春の陽気に包まれた発芽は力強く、新しい生命の誕生を予感させてくれるのが、壬寅の組み合わせだと思います。さて、2022年、今年も生徒一人一人が目標をかなえられるよう、我々教職員一同、力を合わせて精一杯支援していきます。保護者の皆様からも、昨年引き続き御支援と御協力をいただけますよう、よろしくお願ひいたします。

1 学年代表 「2学期を振り返って」 1年3組 吉屋 眞里

4月に始まった慣れない環境での新しい生活から、あっという間に1年が終わろうとしています。2学期を振り返ると様々なことがありました。

10月に行われた合唱コンクールでは、1年3組が優秀賞をとることができました。練習を始めたころは、クラス一人一人の声が小さく、全員で頑張ろうという気持ちが全然足りませんでした。しかし、本番に向けて先生や歌声委員のおかげで、みんなが一生懸命に歌うようになりました。歌声もとてもきれいになり、3組らしい合唱が少しずつできるようになりました。本番では、みんなが団結して、いつも通りの頑張りで、全員が全力になり、力を発揮できたと思います。閉会式で、優秀賞が発表された時のみんなの輝く笑顔は忘れられません。1学期にみんなで立てた学級目標である『輝笑夢尊(一人一人が輝き笑い、夢に向かって、お互いを尊重し合う)』をみんなで叶えることができました。

来年の3月にはクラス替えがあり、3組のメンバーとはお別れです。3組みんなで成長し、全力になり、学んだことを新しいクラスでも生かしていきたいです。まずは3学期、クラスみんなの笑顔がもっと増え、一人一人がもっと輝けるようにしたいと思います。しかし1年3組には、自分の思いを持っていても、控えめの人が多いです。積極的に意見が言えるようなクラスづくりをしていこうと思います。

また、私には将来やりたいことがあります。それは、私たちと同じく、子供でありながら、勉強をしたいのに、教育を受けられない人たちに勉強を教えたいという目標です。目標を叶えるために、今できることは英語の勉強です。そこで英語検定の資格を取ろうと、1学期に決めて勉強を始めました。夢や目標があると、それに向かって頑張ろうと思えて、自分自身を奮い立たせることができます。またその頑張る時間は面倒くさかったり、つらく思えることもありますが、自分にとってとても大切な時間であると思うので楽しく思えます。目標にした級に無事合格したので、次の級を受験するため、毎日少しずつですが、頑張っています。そして英語だけではなく、他の教科や、夢を叶えるために必要な勉強も地道に頑張っています。

3学期には、3年生を送る会や卒業式があります。3年生が書いた去年の「1年を振り返って」という作文を担当の先生に読ませてもらいました。そこには、「感動のフィナーレを今度は僕たちが創り上げていきます！」という言葉がありました。私はそんな感動のフィナーレを創り上げる支えに一年生全員でなれたらなと思いました。なので級長として他のクラスとも団結し、お世話になった先輩方に少しでも感謝を返せれるようにしたいと思います。

「何事も一生懸命に」3学期も、1学年全員で、行事に、日々の授業にと、頑張っていきたいです。

2学年代表

「2学期を振り返って」

2年3組 下池 武瑠

突然ですが皆さんは、「本気が人を変えていく」という言葉を知っていますか？この言葉は日本の起業家の瀬戸 健さんの言葉です。僕は、この言葉を聞いたとき、まさにそのとおりだと思います。

そう思った理由の一つ目は、合唱コンクールでの事です。僕は自分がやりたくない物事を中途半端にやってしまう癖がありました。しかし、この言葉を聞き、本気で取り組んでいみようと思いました。それからは、練習場所に早く行き、精一杯声を出し、皆の歌声をひとつにして練習に励みました。そして、合唱コンクール当日優良賞をとることができました。僕はこの時、皆で協力する事の素晴らしさと本気で物事に取り組む事の大切さを感じました。

二つ目の理由は、学習面についてです。僕は勉強するのが苦手で合唱コンクールと同じく中途半端に勉強に取り組んでいました。点数も順位も伸び悩んでいて、中間テストでの点数も良くありませんでした。期末テストが近づくにつれ、次こそは良い点数をとりたいと思い、合唱コンクールで感じた事を活かそうと思いました。まず、授業では先生の話をよく聞き、家では課題や授業でわからなかったものを調べてノートにまとめたり、学校でもらったプリントをやったりと色々工夫をして勉強しました。すると期末テストでは、特に社会で、良い点数をとることができ、順位も合計得点も上がりました。

この二つの事から本気を出せば人は変わるんだと気づきました。しかし、その一瞬だけ本気を出すだけでなく継続していかないと意味がありません。ですから、3学期でも勉強、部活を頑張りたいです。また、3学期は3年生になる前の準備期間です。あじみそなどを徹底していき、行事では3年生を送る会があるので、皆で協力して成功させたいです。

3学年代表

「2学期を振り返って」

3年3組 伊澤 真愛

私が2学期を振り返って思うことは、一日一日が過ぎるのがとても早いということです。そして一つ一つの行事が私達にとって最後ということを実感しました。そんな気持ちの中、私が頑張ったことは3つあります。

まず、一つ目は合唱コンクールです。2年ぶりの東金文化会館での最後の合唱コンクールでした。3年生として1、2年生に感動してもらえるか、先生方に今までの感謝の気持ちを伝えることができるのかと。朝早くからの練習をしたり、みんなで意見を出し合ったりしました。合唱コンクール当日は、とても緊張しました。クラス全員のドキドキ感。さらに深まる団結力を感じステージに立ちました。歌い終わり、やり切ったと思いました。そして、全校最優秀賞をいただいた時はクラスのみならず歓声と涙が溢れました。本当に感動しました。

二つ目は修学旅行です。私達は1年生の時に行く予定だったマザー牧場、2年生での校外学習が新型コロナのため、中止となりました。今回の修学旅行も2度の延期。また中止になってしまうのではないかと正直思いましたが先生方が色々考えてくださり、行けることになりました。クラスの仲間と行けた修学旅行の時間は最高の思い出になりました。

三つ目は勉強です。私は正直、勉強は好きではありません。なかなか受験に対して前向きになれませんでした。2学期になり、ようやく行きたい高校が見つかりました。周りの友達の必死に勉強している姿を見て私なりのやる気スイッチが入りました。わからないところを教えてくれたり、一緒に勉強しようとして声をかけてくれたり、私一人では、なかなかできない時も友達が私を支えてくれました。週に6回の習い事の水泳は今も続けているので正直、勉強との両立は大変ですが、自分で決めた道なので最後の最後まであきらめず全力でやり切りたいと思います。中学校卒業まであと3ヶ月もありません。3年生全員がそれぞれの希望している進路を無事に決め、卒業式には東金中の生徒で良かったと笑顔いっぱいの卒業式を迎えられたらなと思います。